

氏名	内 田 析 哉		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 4 7 4 号		
学位授与の日付	昭和46年9月30日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	仮骨形成におよぼす薬物の影響についての実験的研究		
論文審査委員	教授 砂田輝武	教授 田中早苗	教授 山崎英正

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

家兔に骨折をおこし、その仮骨形成にクロロキン、副腎皮質ホルモン、蛋白同化ホルモン、GOBABを投与し仮骨形成にいかなる影響をあたえるかを主として組織学的に研究した。ヘマトキシリン・エオジン染色のほか、マイクロラディオグラフィー、テトラサイクリン・ラベリング法も行った。クロロキンは結合織形成は促進するが、骨基質形成は抑制する。副腎皮質ホルモンは結合織増殖を著明に抑制する。蛋白同化ホルモンは仮骨形成にあまり影響をおよぼさない。GOBABは結合織の増殖分化を促進し骨基質の産生も促進する。仮骨へのCa沈着はいずれも薬物もどのような影響をあたえるかは、はっきりしないが、骨基質形成の度合と並行している。仮骨へのCa沈着はかなり早期に、骨折後10日におこっているのがマイクロラディオグラフィーで確認された。

(昭和45年9月1日、中部日本整形外科災害外科学会雑誌 第13巻、第4号)

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、仮骨形成におよぼす薬物の影響について実験的に研究したものであるが、従来十分に考慮されなかった仮骨形成に対する薬物の作用機序に関し重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。